



記者発表資料

国道15号鶴見地下道のエレベーターが全て完成します ～3月30日10時より全方向へ行きやすく～

横浜国道事務所では、国道15号鶴見駅入口交差点の鶴見地下道にエレベーターを設置するバリアフリー化工事を進めてきましたが、この度、横浜側2箇所のエレベーターが完成し、計画されていた4基の全てが平成30年3月30日(金)10時より利用できるようになります。

これまでは、国道15号川崎側横断部分の1方向がバリアフリー化となっておりましたが、今回の整備により、全方向に対応したバリアフリー化となり高齢者、障害者等の円滑な移動が可能になります。

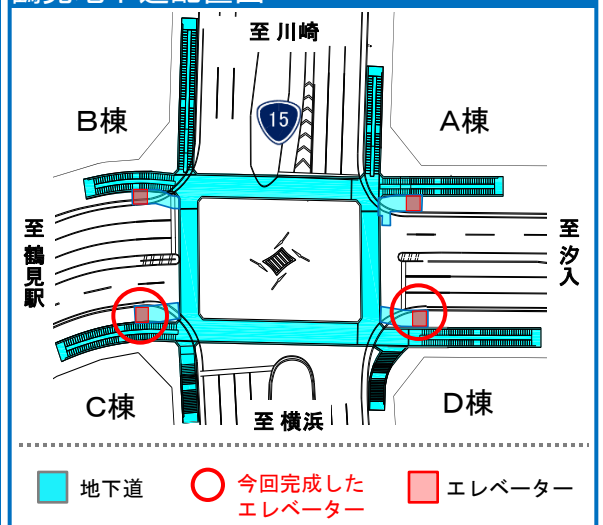
- ・エレベーター利用時間：午前4時00分～翌午前1時30分

位置図



(※地図出典：国土地理院HPより)

鶴見地下道配置図



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
神奈川県政記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

電話 045-311-2981 (代)

副 所 長

中原 浩慈 (なかはら こうじ)

交通対策課長

吉池 正弘 (よしいけ まさひろ)

鶴見地下道の概要

鶴見地下道は歩行者が安全に横断できるよう、昭和５７年に一般国道１５号と駅前通り（通称）が交差する鶴見駅入口交差点地下に建設されました。

平成16年8月に策定された「横浜市鶴見駅地区交通バリアフリー基本構想」によりバリアフリー化を優先的に推進する「特定経路」に指定され、エレベーター等の整備事業を行ってきました。

○經緯

- ・昭和57年 1月 完成
- ・平成25年 12月 川崎側2箇所のエレベーター完成
- ・平成30年 3月 横浜側2箇所のエレベーター完成

○利用者数

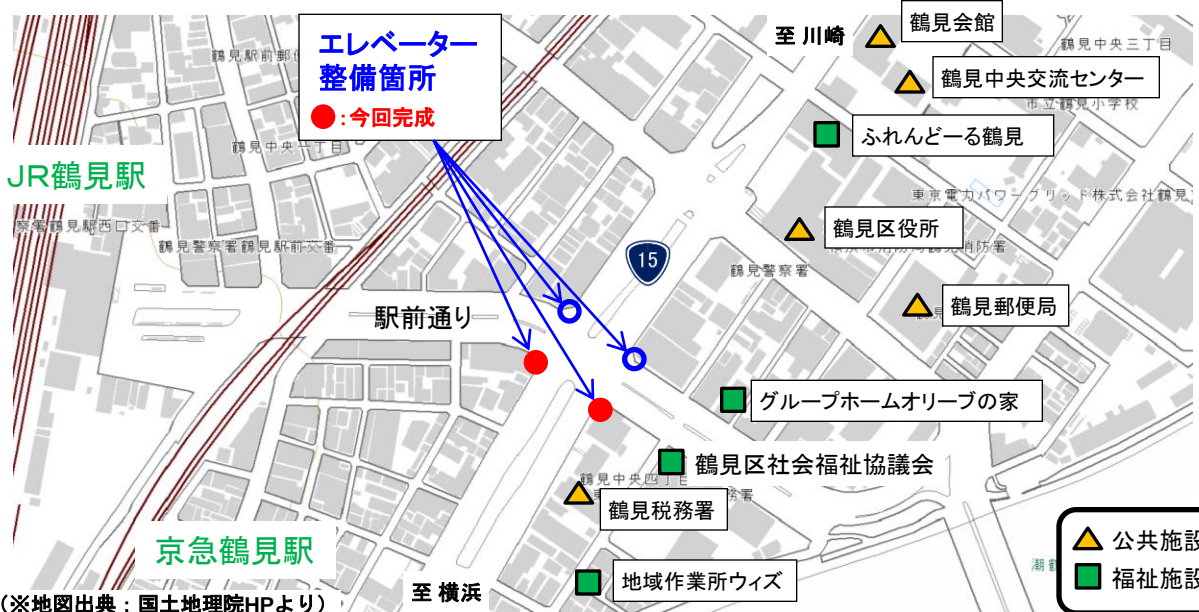
- ・約13,000人
[平日7～19時の12時間]

事業により期待される効果

エレベーターが全て整備されたことにより、車いすやベビーカーの方もこれまで以上に快適に地下道を利用できるようになります。



主な公共施設等へのアクセスが向上します。



エレベーター概要 ・定員：20名 ・利用時間：午前4時00分～翌午前1時30分